

自給粗飼料 ～ハカマロールサイレージ～

1 はじめに

ローズグラスなどの暖地型牧草は、徳之島においても、冬季は生育に必要な温度が不足します。そのため、十分な栽培面積を確保していない農家では、冬季から早春の粗飼料が不足することが想定されます。対策として令和3年度から、ハカマを粗飼料として利用する取組を始め、粗飼料が不足する時期に利用が見込まれることが分かりました。これを受け、今年度は嗜好性等を明らかにするための給与調査を実施しました。

2 ハカマロール給与調査

(1) 調査概要

- 1 調査期間 令和5年5月8日～6月18日(42日間)
- 2 調査頭数 生産牛34頭
- 3 調査項目 給与量、残滓量、栄養度、胸囲、飼料成分分析
 - ※1 給与は1日1回給与(午後給与し、翌朝清掃)
 - ※2 給与方法 1週間(7日間)のうち1～4日目はハカマロール、5～7日目はローズグラスサイレージを給与
 - ※3 配合飼料を1日1頭あたり2kg給与
 - ※4 残滓量調査は5月31日～6月15日まで実施



ハカマロールサイレージ給与の様子

(2) 給与調査結果

給与量に対する残滓率はローズサイレージに比べ高く、嗜好性の向上が課題と考えられました。

給与粗飼料	残滓量(kg)	残滓率(%)	摂取量/頭(kg)
ハカマロールサイレージ	65	16.5	9.7
ローズグラスロールサイレージ	5	1.2	12.4

※1日1頭当たりの数値

(3) 飼料成分分析結果

ハカマロールの特性は、粗たんぱく質含量が低く、総繊維含量が高いことです。そのため、ハカマロールのみの給与ではたんぱく質不足が予想され、不足成分は配合飼料等で補う必要があります。

	粗タンパク質(%)	NDFom(%)
ハカマロールサイレージ	4.4	74.1

※分娩前後は栄養要求量が高まるため、ハカマロールの給与は控えましょう。

(4) 輸入乾草との飼料コスト比較

以下の条件のもと、飼料費を試算しました。

飼料	形状	価格(税込)	単価(円/kg)
ハカマロールサイレージ	90cm 196.4kg	5,000円	25.5
輸入乾草 オーツハイ	22kg	2,800円	127.3
繁殖用配合飼料	1t	90,970円	91.0

飼料	給与量(kg)	コスト
ハカマロールサイレージ	9	425円
配合飼料	2.2	

飼料	給与量(kg)	コスト
輸入乾草	6	855円
配合飼料	1	

約430円のコスト低減!

自給粗飼料の確保や未利用資源の活用でコスト低減を図り、強固な肉用牛産地基盤を確立しましょう!